

【緑地を楽しむ本】

『やとのいえ』

八尾慶次 作

借成社



町田市内を車で走ると、よく「谷戸」とつく交差点を見かけます。谷あいのそういう土地が多いんだな

あ、と実感します。

この絵本は、らかんさん(羅漢)の視点で、明治の始めから 2019 年までの谷戸の変化を描いています。どんどん変わってゆく姿に、町田もこうやって変化してきたのかな、となんだか身近に

感じます。具体的な場所なのかな・・・と、2019 年の絵を見ると、「おっ、多摩センター！」。

風俗なども細かく描かれていて、絵本の後ろには各ページのていねいな解説付きです。その解説の中に、多摩ニュータウンの造成工事が出た大量の土が、周辺の谷を埋めるのに使われただけでは処理できず、昭和記念公園にも使われたとありました。立川飛行場を接收した米軍基地跡地とか認識していなかったの、掘って見ると多摩の土もあるのか、と不思議な感じがしました。

(遠藤)